

## 舞鶴工業集積協議会

### 京都ビジネス交流フェア2020に出展

# 市内製造業者の 柔軟な対応力をアピール

舞鶴工業集積協議会（会長：田中正明(株)田中製作所代表取締役社長）では、3年前から製作を進めている「アサリと砂の分離装置」について、更に改良を加えた試作機を2月13日、14日に京都市で開催された「京都ビジネス交流フェア2020」に出展されました。

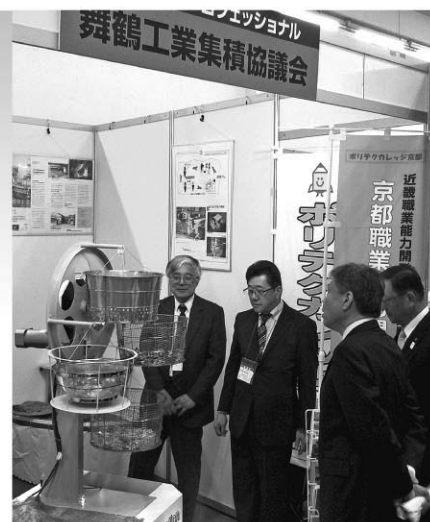
この分離装置は、アサリの稚貝が混じった砂から稚貝だけを採取するもので、海上に浮かべる浮力体の上に、縦回転する4つのカゴを備えています。

会期中は、同協議会の展示ブースにも、多くの経営者や営業担当者が来訪。田中会長と細井副会長（細井工業(株)取締役社長）が分離装置を前に、その説明を行ったり、同協議会の活動を紹介したりするなど、同協議会メンバーの技術力と柔軟な対応力を積極的にアピー

ルされました。来訪者からは、「海がある舞鶴ならではの取り組み」との声も聞かれ、

本市の特性を再認識することにも繋がりました。

なお、この商談会は、年に一度開催され、府内最大級の規模を誇ります。ものづくり企業の「企業間の取り引き」に特化され、企業の連携と交流や情報交換、課題解決の場でもあることから、様々な取り組み、手法など、ビジネスチャンスを求めて約5,600人の来場がありました。



アサリと砂の分離装置について説明する田中会長と細井副会長（左から）

## 料理飲食部会、食料品・水産部会 — 合同事業

# 「アグリフードEXPO」 「シーフードショー」を視察



最新のトレンドを実感 — (2月19日:ATCホール)

「料理飲食部会（部会長：畑本久未子(有)加寿美取締役役)」、「食料品・水産部会（部会長：田中信男舞鶴水産流通(協)理事長）」では、2月19日に合同事業として、ATCホール（大阪市）で開催さ

れた「アグリフードEXPO大阪2020」と「シーフードショー大阪」を視察しました。

この催しは、全国から出展した約450社が、旬の農水産物を使用した加工品や、食品に関わる最新の機器等が展示されている中で、飲食店や小売店などの事業者が商談を行う場です。今回参加した10人の部会員は、今後の経営方針や事業展開に活かそうと、業界のトレンドの確認をはじめ、出展業者らに質問をしたり説明を求めたりするなど調査活動を行いました。

部会員からは、「健康をキーワードにした商品が多くみられ、今後の事業展開の参考にしたい」。また、「個人では参加しにくいので、部会事業として一緒に参加できる機会はありがたい」などの感想があり、実りの多い視察研修になりました。